

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2005-145930(P2005-145930A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-389638(P2003-389638)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 23/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 9/08

A 6 1 P 23/02

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月17日(2006.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造中にカルボキシル基を有する非ステロイド系消炎鎮痛剤と、局所麻酔剤とを加温混合し、得られた均一組成物を外用剤の製造に使用することを特徴とする消炎鎮痛外用剤の製造方法。

【請求項2】

上記非ステロイド系消炎鎮痛剤1モルに対して上記局所麻酔剤を0.7モル以上、1.3モル以下の比で混合し、上記加温混合時の温度を、上記均一組成物の融点以上とする請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

上記局所麻酔剤として、リドカインまたはその塩を用いる請求項1または2に記載の製造方法。

【請求項4】

溶媒を滴下しながら、構造中にカルボキシル基を有する非ステロイド系消炎鎮痛剤と、局所麻酔剤とを混合し、得られた均一組成物を外用剤の製造に使用することを特徴とする消炎鎮痛外用剤の製造方法。

【請求項5】

上記非ステロイド系消炎鎮痛剤1モルに対して上記局所麻酔剤を0.7モル以上、1.3モル以下の比で混合する請求項4に記載の製造方法。

【請求項6】

上記溶媒の使用量を、上記非ステロイド系消炎鎮痛剤と局所麻酔剤の合計量に対して30質量%以下とする請求項4または5に記載の製造方法。

【請求項7】

上記局所麻酔剤として、リドカインまたはその塩を用いる請求項4～6の何れか1項に

記載の製造方法。

【請求項 8】

構造中にカルボキシル基を有する非ステロイド系消炎鎮痛剤と、局所麻酔剤とを、非ステロイド系消炎鎮痛剤 1 モルに対して局所麻酔剤を 0.7 モル以上、1.3 モル以下の比で加温混合することを特徴とする均一組成物の製造方法。

【請求項 9】

上記局所麻酔剤として、リドカインまたはその塩を用いる請求項 8 に記載の製造方法。

【請求項 10】

溶媒を滴下しながら、構造中にカルボキシル基を有する非ステロイド系消炎鎮痛剤と、局所麻酔剤とを、非ステロイド系消炎鎮痛剤 1 モルに対して局所麻酔剤を 0.7 モル以上、1.3 モル以下の比で混合することを特徴とする均一組成物の製造方法。

【請求項 11】

上記局所麻酔剤として、リドカインまたはその塩を用いる請求項 10 に記載の製造方法

。